

松戸市の自殺統計について

令和 6 年 10 月 8 日
松戸市自殺対策推進部会

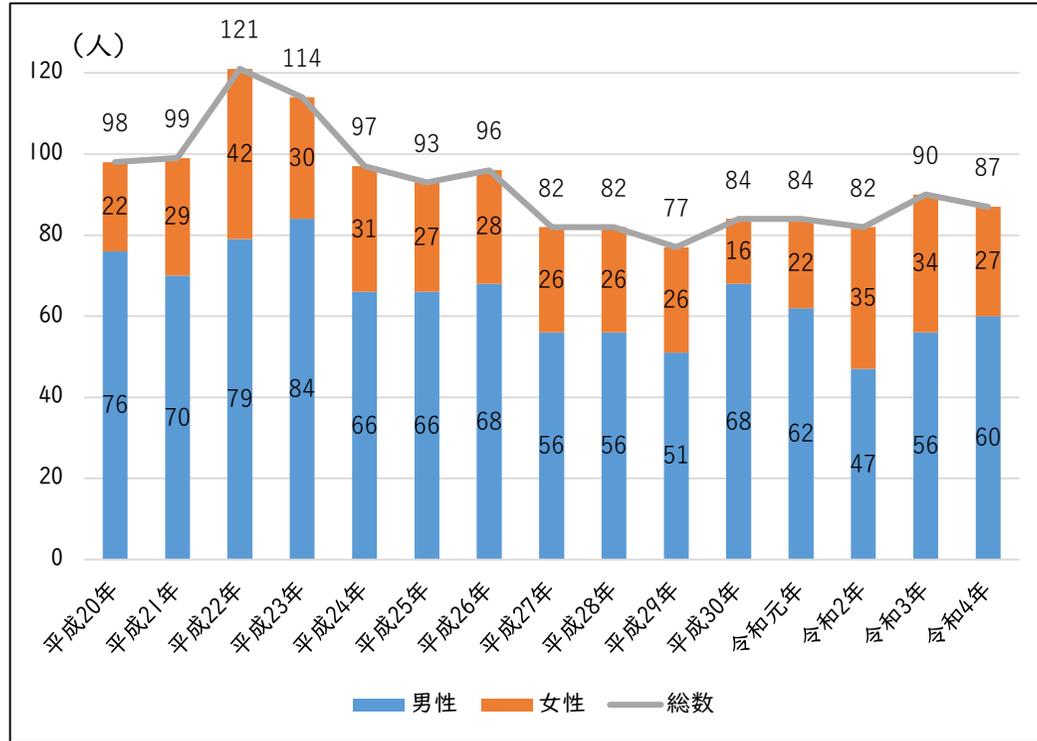
自殺統計について

	人口動態統計	警察庁自殺統計
出典元	厚生労働省	警察庁が自殺統計原票を集計した結果
対象	日本における 日本人	日本における 外国人も含む
計上方法	死因不明の場合は不明のまま処理され、訂正報告がない場合には自殺には計上されない	捜査などにより自殺と判明した時点で「自殺統計原票」を作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺総合対策大綱の数値目標における自殺死亡率の基 ・WHOに自殺死亡者（率）を報告 ・千葉県衛生統計年報（自殺者数・死亡率） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における自殺の基礎資料はこれを基に厚生労働省自殺対策推進室が集計 ・地域自殺実態プロファイルの基
分類	住所地を基に死亡時点で計上	自殺日・発見日、住居地・発見地 市では自殺日・住居地を使用
内容	自殺者数、自殺死亡率、男女別、年代別	左記に加え、 原因・動機別、職業別、自殺未遂歴の有無別、同居人の状況別 など
数の公表時期	<ul style="list-style-type: none"> ・概数：翌年の6月 ・確定数：翌年の9月 	<ul style="list-style-type: none"> ・速報値・暫定値：月別の数値は翌月 ・確定値：翌年の3月

松戸市の自殺の状況 ①自殺者数、自殺死亡率の年次推移

○本市の自殺者数・自殺死亡率は国、県と同様に減少傾向であったが、平成30年以降、下げ止まりとなっている。

図1 松戸市の自殺者数の推移

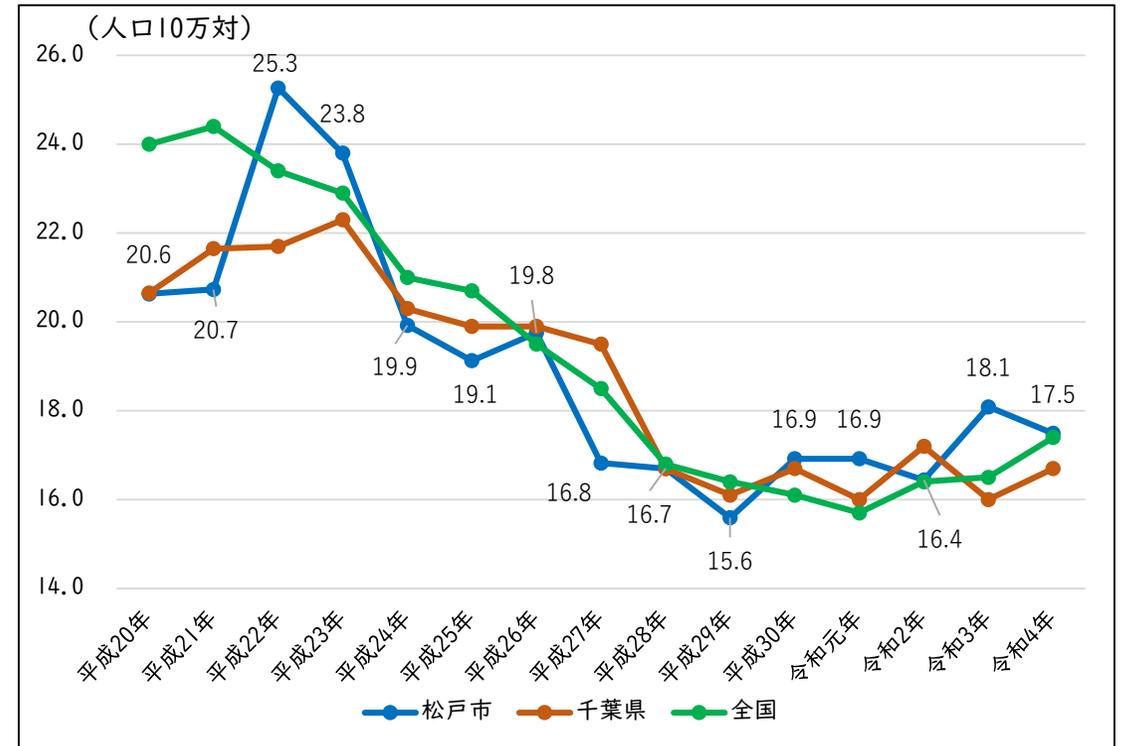


人口動態統計

【参考値】警察庁自殺統計の自殺者数

		男性	女性	合計
松戸市の自殺者数 (人)	令和3年	51	29	80
	令和4年	59	25	84
	令和5年	48	23	71

図2 自殺死亡率の推移（松戸市、千葉県、全国）



人口動態統計

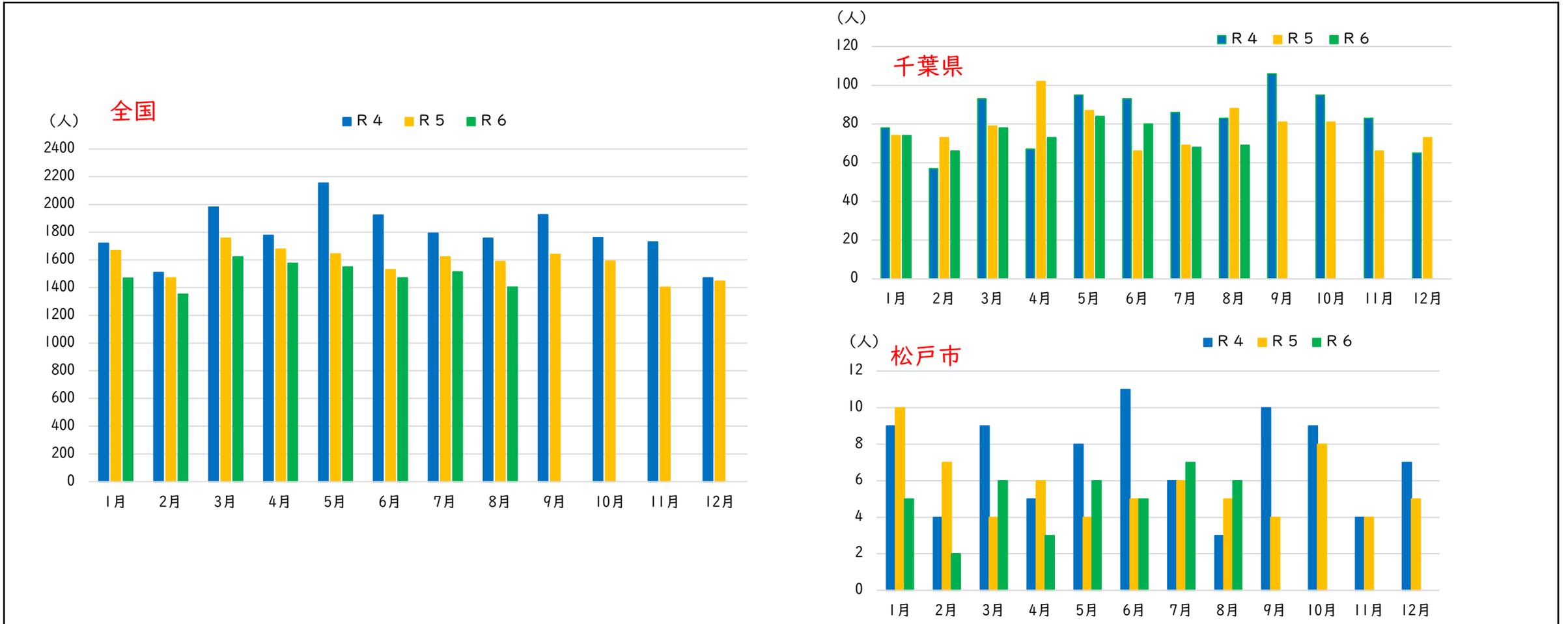
【参考値】警察庁自殺統計の自殺死亡率

		松戸市	千葉県	全国
自殺死亡率 (人口10万対)	令和3年	16.1	15.2	16.4
	令和4年	16.9	15.9	17.3
	令和5年	14.3	15.8	17.3

松戸市の自殺の状況 ②月別自殺者数の推移

○本市の令和6年の自殺者数は、国、県と同様、明らかな増加は見られていない。

図3 月別自殺者数の推移（全国、千葉県、松戸市）

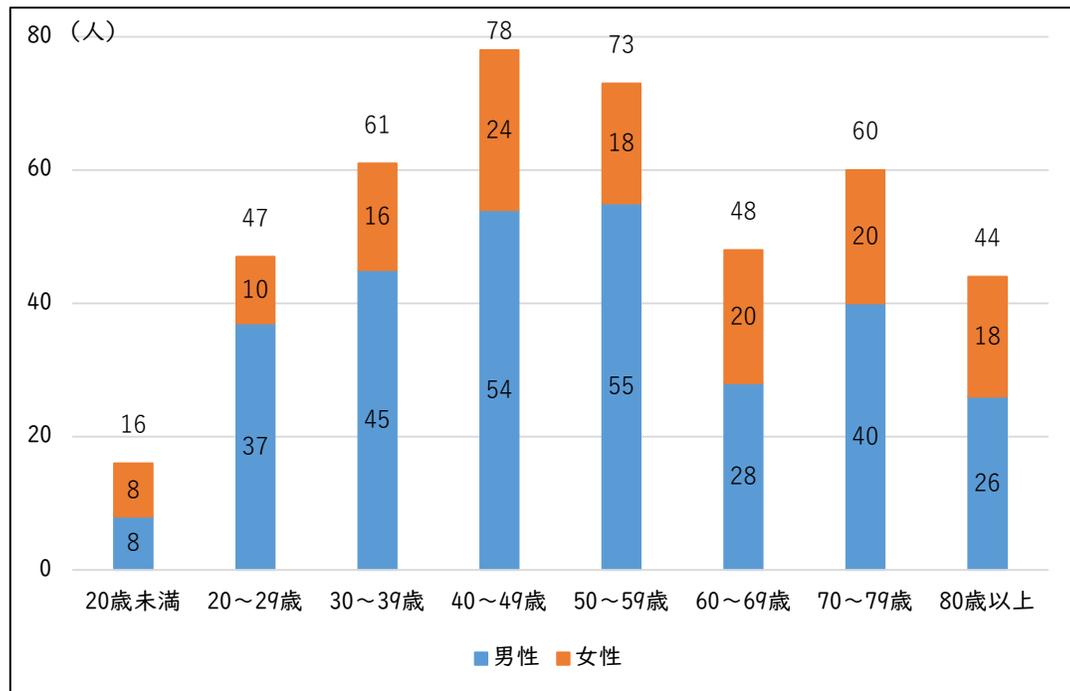


松戸市の自殺の状況 ③年代別自殺者数

○40代、50代の自殺者数が最も多く、30代、70代が続く。男性に比べて、女性は年代によるばらつきが少ない。

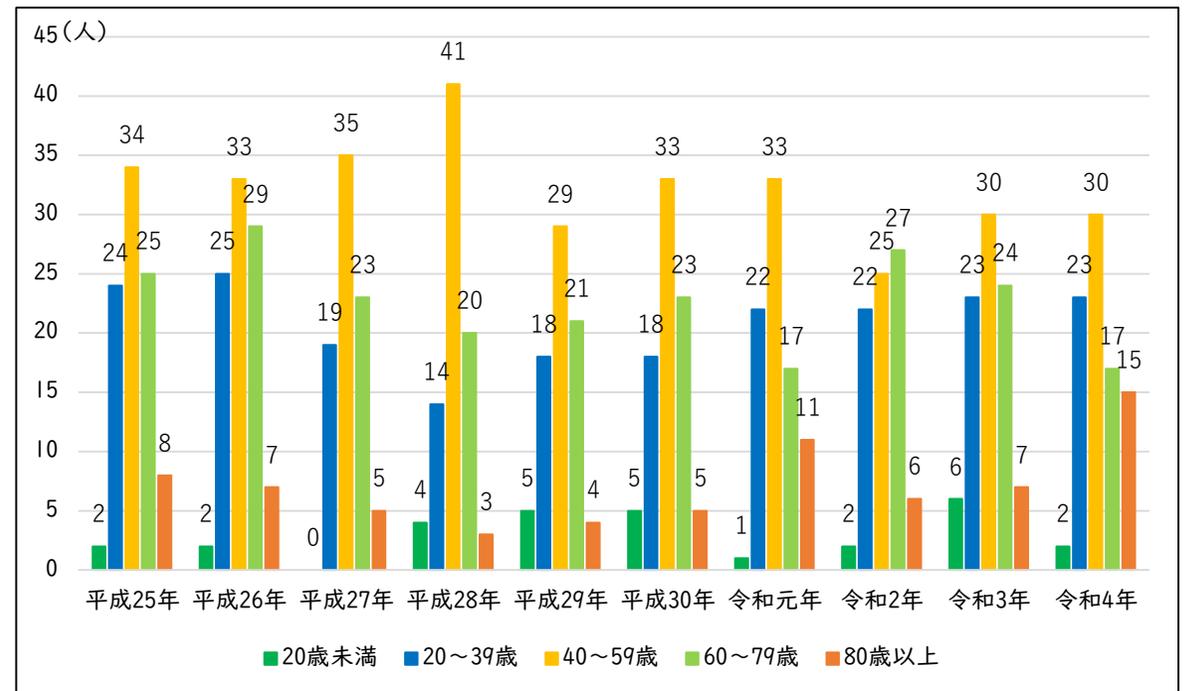
○令和2年以降は、年代による差が少なくなっている。

図4 松戸市の年代別自殺者数（平成30年～令和4年の合計）



人口動態統計

図5 松戸市の年代別自殺者数の推移



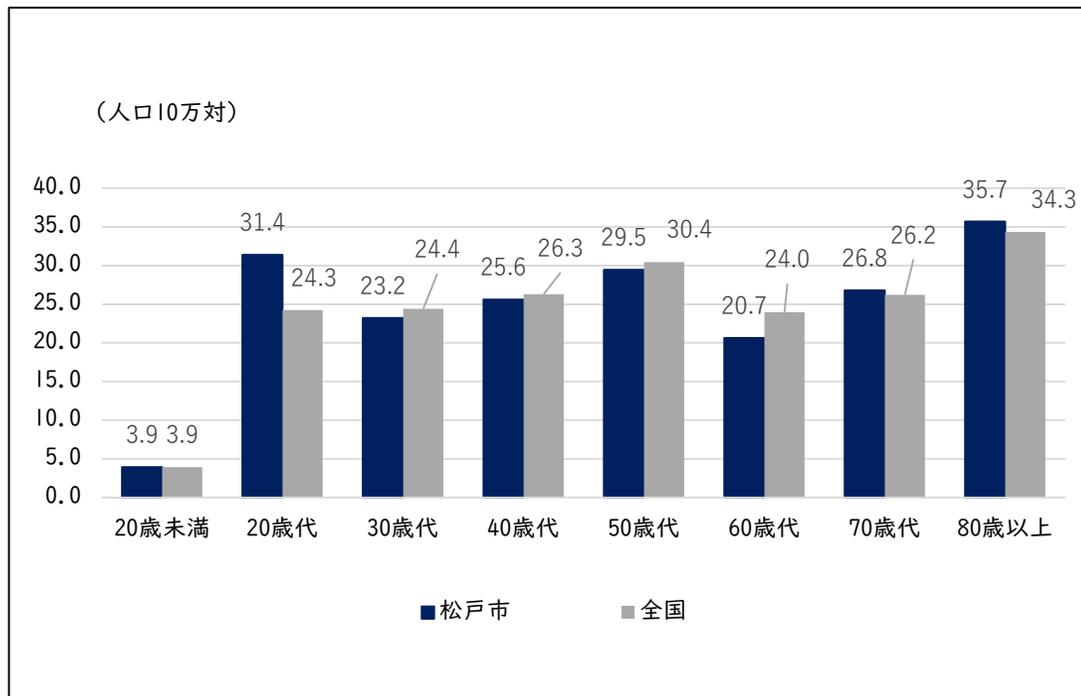
人口動態統計

松戸市の自殺の状況 ④年代別自殺死亡率（全国との比較）

○男性は、20代、70代、80歳以上が全国に比べて高くなっている。

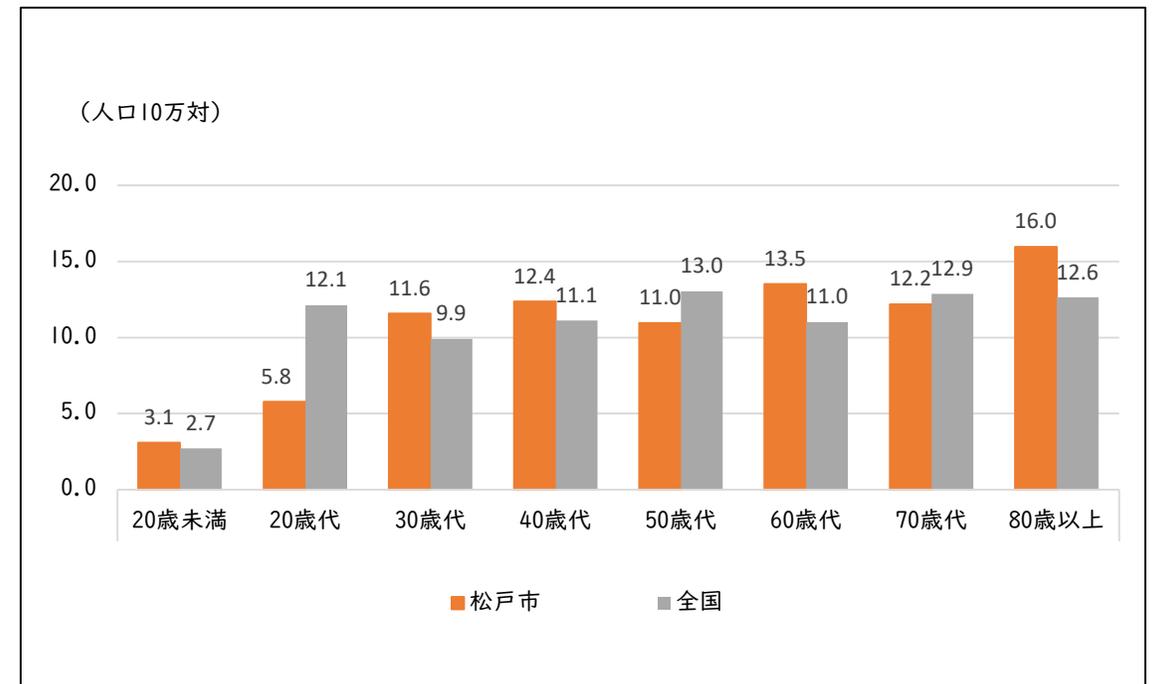
○女性は、特に30代、60代、80歳以上が全国に比べて高く、20代が低くなっている。

図6 男性の年代別死亡率（平成30年～令和4年の平均）（松戸市、全国）



警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

図7 女性の年代別死亡率（平成30年～令和4年の平均）（松戸市、全国）



警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

松戸市の自殺の状況

⑤年代別死亡原因（平成30年～令和4年の合計）

表1 松戸市の年代別に見た死亡原因（平成30年～令和4年の合計）

年代	第1位		第2位		第3位		死亡者総数
	死因	死亡者数	死因	死亡者数	死因	死亡者数	
10歳未満	悪性新生物	8	・周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 ・その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの			各7	61
10～19歳	自殺	16	その他の外因	5	悪性新生物 不慮の事故	各3	34
20～29歳	自殺	47	悪性新生物	10	心疾患（高血圧性を除く）	9	87
30～39歳	自殺	61	悪性新生物	21	心疾患（高血圧性を除く）	14	137
40～49歳	悪性新生物	136	自殺	78	心疾患（高血圧性を除く）	71	476
50～59歳	悪性新生物	377	心疾患（高血圧性を除く）	190	脳血管疾患	77	1,068
60～69歳	悪性新生物	857	心疾患（高血圧性を除く）	327	脳血管疾患	124	2,067
70～79歳	悪性新生物	2,293	心疾患（高血圧性を除く）	778	脳血管疾患	338	5,733
80～89歳	悪性新生物	2,263	心疾患（高血圧性を除く）	1,450	老衰	779	8,988
90歳以上	老衰	1,346	心疾患（高血圧性を除く）	918	悪性新生物	679	5,452

※死亡者総数：平成30年～令和4年までの各年代の死亡者合計人数

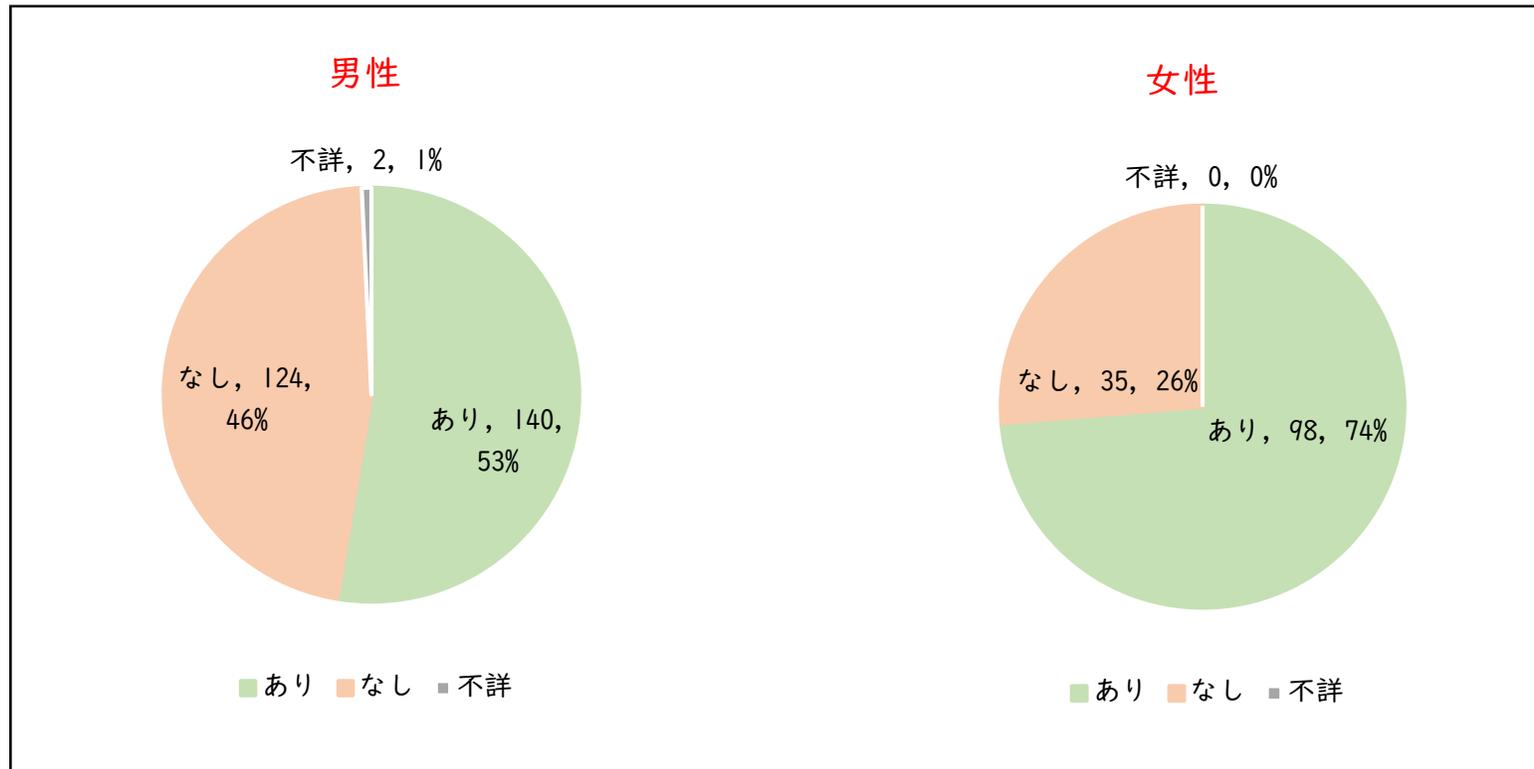
人口動態統計より集計

松戸市の自殺の状況 ⑥同居人の有無

○男女ともに、「同居人なし」よりも「同居人あり」の割合が高く、女性は男性より「同居人あり」の割合が高い。

○一般世帯に占める単独世帯の割合と比較すると、男女ともに「同居人なし」の割合が高く、特に男性は「同居人なし」の割合が高い。

図8 松戸市の自殺者（令和元年～令和5年の合計）の同居人の有無別割合



【参考】松戸市統計書 令和5年度版（国勢調査 R2, 10, 1）

一般世帯 世帯数：230,931

世帯人員：490,216人中、単独世帯(人員) 93,029(人) [19%]

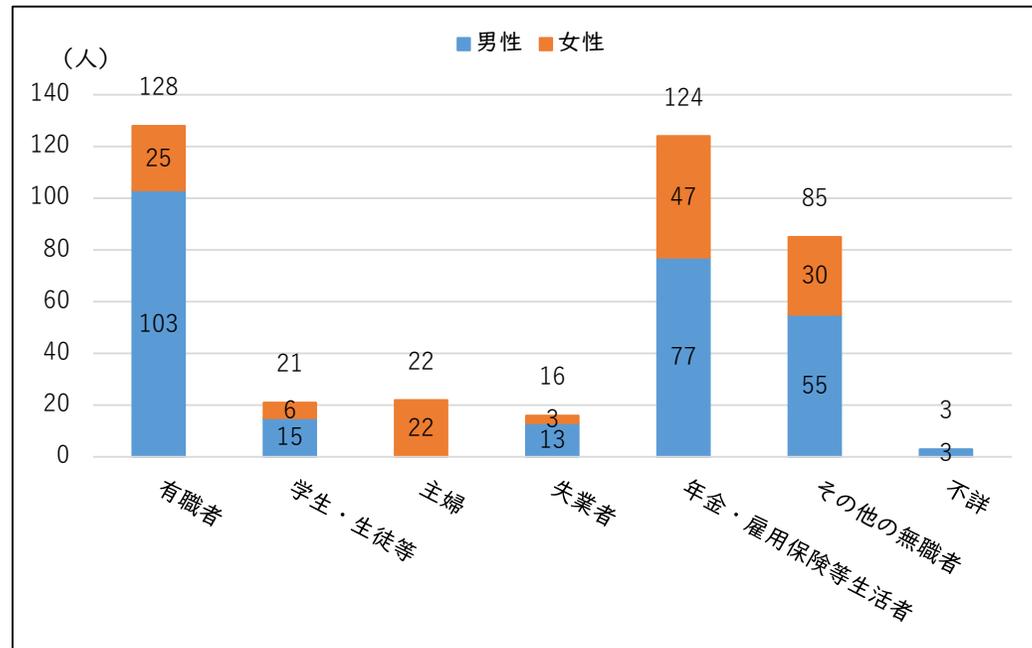
警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

松戸市の自殺の状況 ⑦職業別自殺者数

○5年間の合計人数では、男性では有職者が最も多く、女性では年金・雇用保険等生活者が最も多い。

○男性の有職者は増加傾向、その他の無職者は減少傾向にある。女性は年によってばらつきが大きい。

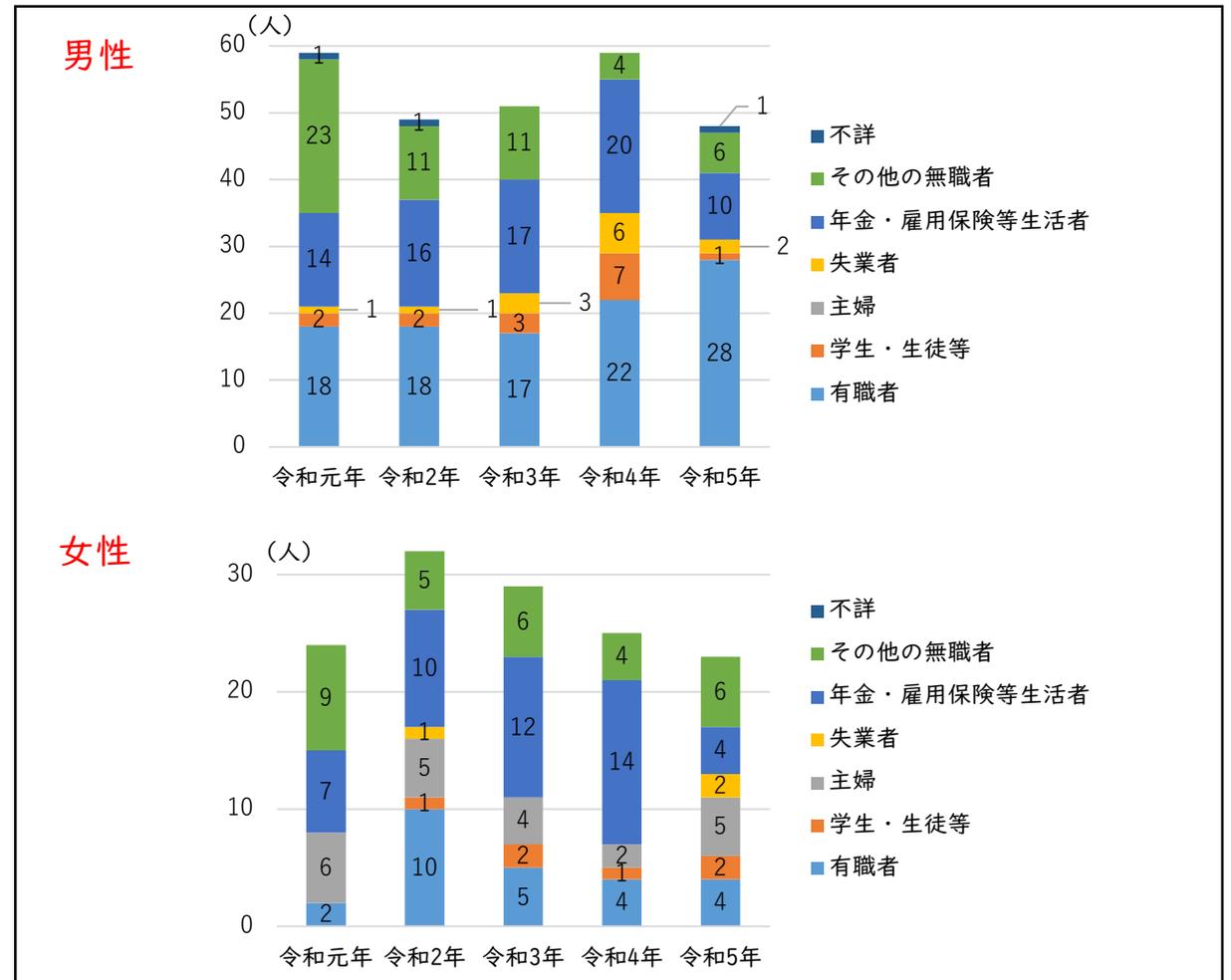
図9 松戸市の職業別自殺者数（令和元年～令和5年の合計）



警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

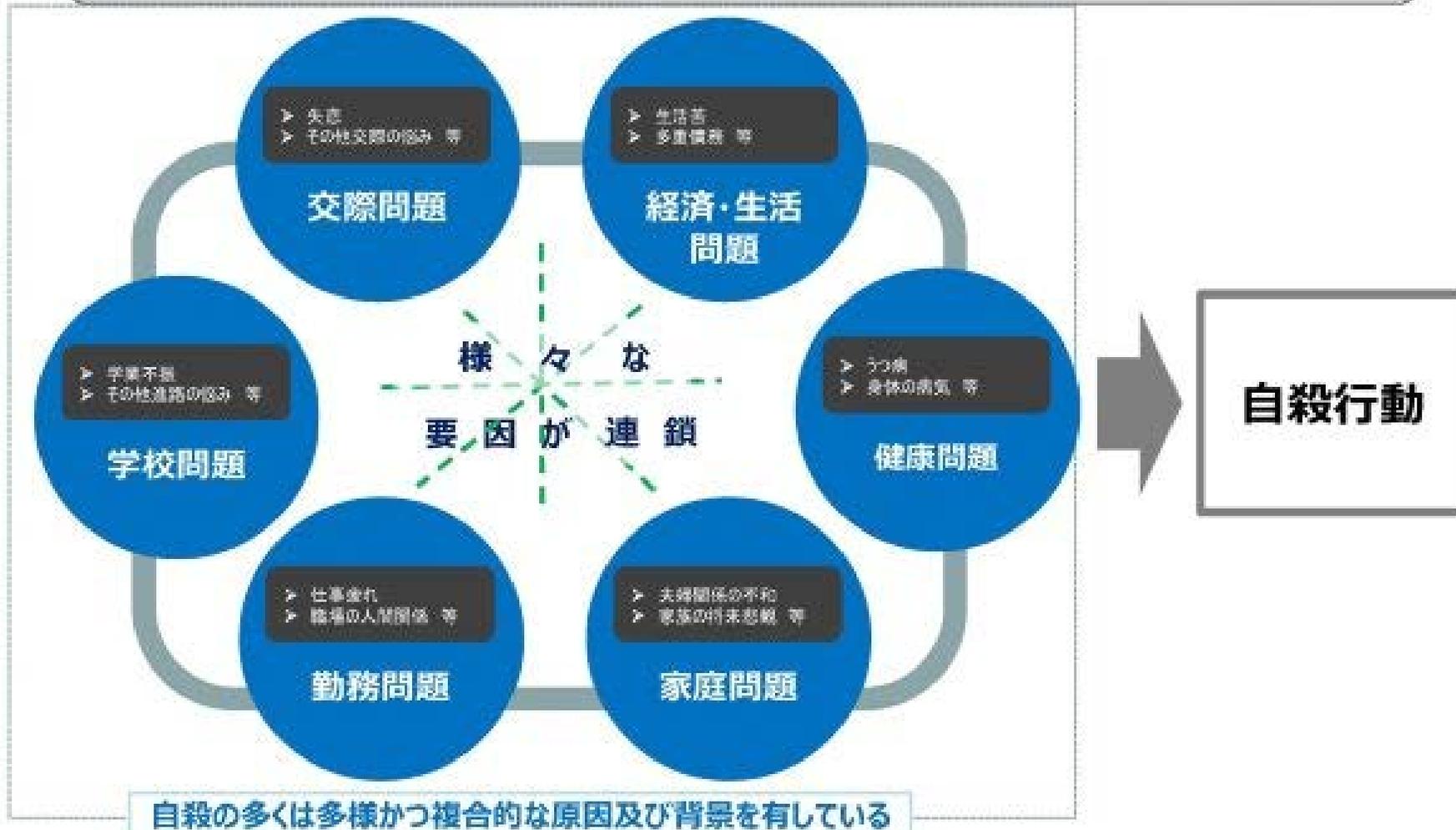
警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

図10 松戸市の職業別自殺者数の推移



自殺の原因・背景について

➤ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。
(「経済・生活問題」や「家庭問題」等、他の問題が深刻化する中で、これらと連鎖して、うつ病等の「健康問題」が生ずる等)

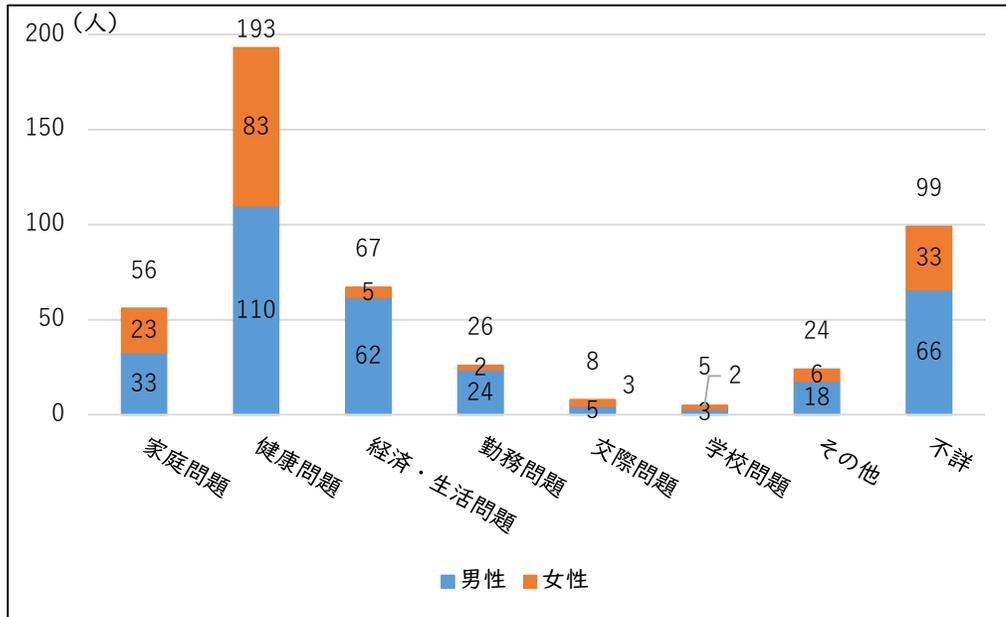


厚生労働省・警察庁
令和4年中における自殺の状況より

松戸市の自殺の状況 ⑧原因・動機別自殺者数

○男女ともに健康問題が多く、男性は経済・生活問題、勤務問題、女性は家庭問題が続く。

図11 松戸市の原因・動機別自殺者数（令和元年～令和5年の合計）

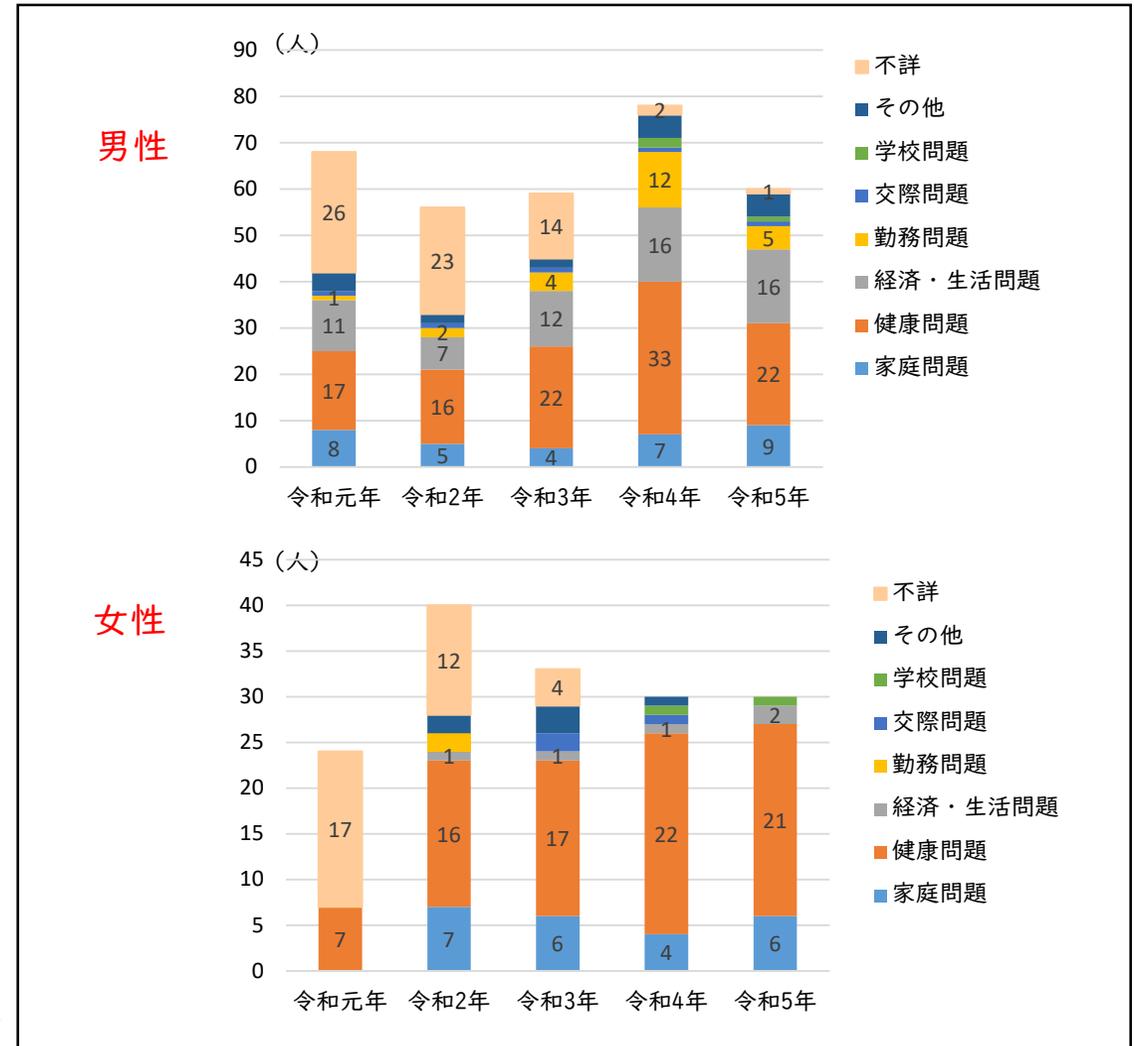


警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

※ 自殺の原因・動機について、令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としている。

警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

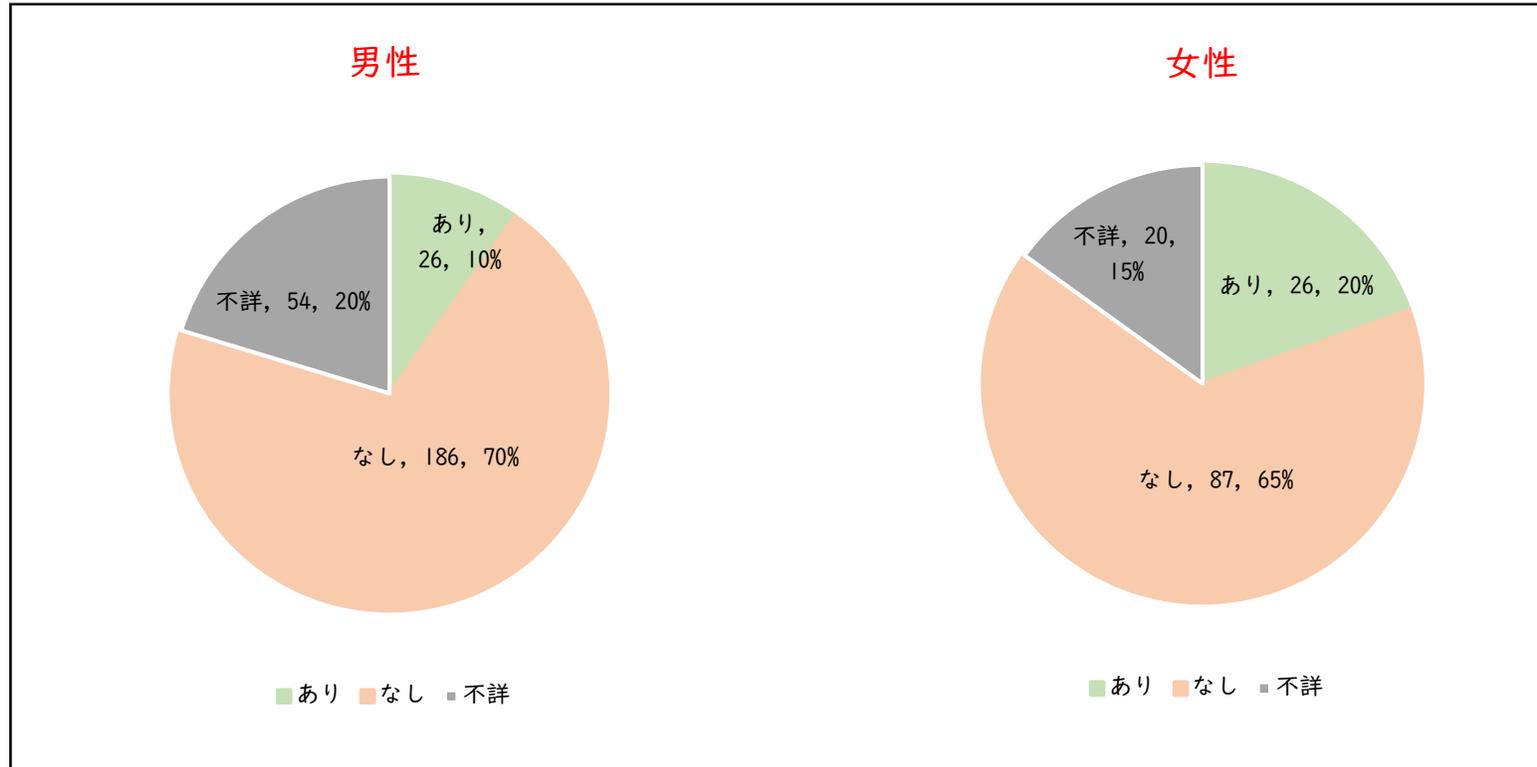
図12 松戸市の原因・動機別自殺者数の推移



松戸市の自殺の状況 ⑨自殺未遂歴の有無

○自殺未遂歴の有無は、男性よりも女性の方が「あり」の割合が高くなっている。

図13 松戸市の自殺者（令和元年～令和5年の合計）の自殺未遂歴の有無別割合



警察庁自殺統計（自殺日・住居地）

松戸市の自殺の状況 ⑩地域自殺実態プロファイルによる分析

地域自殺実態プロファイルとは、市町村が自殺対策計画を策定するにあたり、地域の自殺実態を理解できるようにするためのツールとして国から送られた参考資料集です。自殺実態の分析を共通の手法で行なったもので、他市町村と比較可能となっています。5年合計の集計を用いており、性、年代、職業、同居人の有無から自殺者数が多い5つの区分が示されています。

表2 松戸市の主な自殺者の特徴（平成30年～令和4年合計）＜個別集計（自殺日・住居地）＞

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (人口10万対)	参考：全国の自殺死亡率 (人口10万対)
1位：男性60歳以上無職同居	44	10.6%	29.0	28.1
2位：男性40～59歳有職同居	40	9.6%	14.7	15.9
3位：男性60歳以上無職独居	32	7.7%	83.3	83.1
4位：男性40～59歳無職独居	30	7.2%	273.7	233.6
5位：女性60歳以上無職同居	30	7.2%	11.8	12.6

※区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順。

※自殺死亡率の算出に用いた人口は、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を基に、一般社団法人いのち支える自殺対策推進センターにて推計。

令和6年度 関連要因についての相談状況調査

担当課	事業名または業務の内容	関連する施策										項目	件数 (R3年度)	件数 (R4年度)	件数 (R5年度)	備考		
		基本施策					重点施策											
		ネット ワーク	人材 育成	啓発 と周知	自殺 未遂者	自死 遺族等	児童 生徒	生活 困窮者	高齢 者	勤務 ・ 経営	子ども ・ 若者						ノリ テイ マイ	女性
男女共同参画課	ゆうまつどころの相談			●								●	●	女性の相談件数	380	376	390	令和2年度4月から5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面接相談を中止し、電話相談のみ実施
				●									●	●	男性の相談件数	50	31	
商工振興課	労働相談			●							●			相談件数	97	105	101	
消費生活課	多重債務についての相談			●				●						相談件数	41	38	32	
福祉政策課	低所得者支援事業							●						法外保護金の申請件数	163	165	153	
	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）			●				●						相談件数	817	659	788	
健康推進課	健康相談			●				●	●	●	●	●	精神疾患やこころの健康に関する相談件数	実数：44 延数：173	実数：96 延数：227	実数：117 延数：227		
	生きる支援相談窓口			●	●			●	●	●	●	●	相談件数	/	543	1,552	令和4年度より開始した、「生きているのがつらい」と感じている方のための相談窓口	
地域包括ケア推進課	福祉まるごと相談窓口			●				●	●			●	相談全体件数	12,248	3,376	2,896		
														再掲 ①健康・医療に関する相談	2,564	682	570	
														②経済的な問題に関する相談	1,739	668	559	
	総合相談事業			●					●	●				相談全体件数	18,234	127,689	129,364	地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの相談件数（福祉まるごと相談を除く）
														再掲 ①健康・医療に関する相談	4,311	28,181	26,904	地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの相談件数（福祉まるごと相談を除く）
														②経済的な問題に関する相談	2,271	6,927	6,262	地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの相談件数（福祉まるごと相談を除く）
高齢者虐待防止ネットワーク関係業務	●									●			高齢者虐待の通報受理件数	231	293	246	通報受理件数のうち虐待認定件数 令和3年度106件、令和4年度140件、令和5年度106件	

担当課	事業名または業務の内容	関連する施策										項目	件数 (R3年度)	件数 (R4年度)	件数 (R5年度)	備考		
		基本施策					重点施策											
		ネット ワーク	人材 育成	啓発 と周知	自殺 未遂者	自死 遺族等	児童 生徒	生活 困窮者	高齢 者	勤務 ・経営	子ども ・若者						ノリ テイ マイ	女性 ・マイ
生活支援課	生活保護施行に関する業務						●						生活保護の相談件数	2,765	2,890	2,942		
													再掲	生活保護の申請数	1,187	1,183	1,245	
障害福祉課	基幹相談支援センター等における相談支援			●									相談全体件数	23,832	20,963	23,501	令和3年度から、重層的支援体制整備事業として、中央・小金・常盤平基幹相談支援センター及び社会福祉法人桐友学園による相談体制となったことから、4法人合計の件数を記載。	
													再掲	①こころの不調に関する相談	1,406	2,552	3,631	
														再掲	②経済的な問題に関する相談	1,213	1,139	3,720
子ども居場所課	青少年相談			●		●					●		相談件数	353	330	384	平成30年度から家庭教育相談員が常盤平児童館に移動し、来所する子どもに話しかけるなど、相談しやすい関係づくりをおこなっている。	
こども家庭センター	女性相談			●							●	●	相談全体件数	356	361	334		
											●		再掲	DVについての相談	102	127	109	
	家庭児童相談			●							●		児童虐待の通報受理件数	1,360(1,404)	1,366(1,400)	1,387	()内には旧統計基準による数値を記載	
	市民健康相談			●				●		●	●		相談全体	13,769	11,146	10,479	令和5年度は、乳児・産婦の来所相談が増加した。全体の相談者数の減少は、子育て支援センター等の増加や地域包括支援センターが設置されたことで、相談先が増え充実してきたことと考える。	
											●	●	再掲	こころの健康に関する相談	389	192	151	19～39歳の電話相談が増加した。
	乳児家庭全戸訪問事業における産後うつチェックリストによるスクリーニング										●	●	点数が高かった者の数	186	203	244		
児童生徒課	教育相談・心理相談					●					●		相談件数	1,126	973	819	令和4年度より担当課の変更のため、本庁受理面談及び不登校相談のみ対象とする。	
	スクールソーシャルワーカーによる相談					●					●		相談件数(延件数)	8,914	13,326	15,129		

令和6年度 うつ病等罹患状況調査票

担当課	項目	件数 (R3年度)	件数 (R4年度)	件数 (R5年度)	
障害福祉課	自立支援医療の精神通院 申請数(新規)	919人 (内うつ病410人)	1,027人 (内うつ病404人)	961人 (内うつ病376人)	
健康推進課 健診担当室	うつ病 (外来)	レセプト件数(被保険者千人当たり)	18.269	18.236	18.864
		被保険者医療費総点数	40,402,194	37,732,303	37,821,490
	うつ病 (入院)	レセプト件数(被保険者千人当たり)	0.314	0.297	0.365
		被保険医療費総点数	17,585,342	14,525,029	17,143,325